

# 白石市博物館建設に向けての一層の推進を

安藤佳生

〔質疑〕市内には貴重な文化財、資料等が多く、最近古文書等が新たに発見をされている、しかし残念なことに、それらを保管する施設がなく月日の経過とともに一般の私達に公開されることもなく温度湿度差等のダメージと虫食い等により朽ちていく懸念がある。

郷土資料館建設基金の利活用時期及び博物館建設構想委員会から文化遺産の保存が急務だとの博物館建設を求めめる答申を七月四日に受け今後、学校教育、生涯学習の場として実現に向けての市長の考えを伺いたい。

〔答弁〕本年七月四日、有識者五名から成る博物館建設構想委員会から、博物館建設基金構想の答申を受けている。白石の歩んできた歴史、文化を多くの市民が正しく理解するためにも、また、今後の白石市文化の伝承と創造していく力を養う上から、早期に取り組むべき課題の一つと考えている。寄せられた寄附金など、白石市郷土資料館建設基金も大分時間が経過しているとのこと、また、白石市の文化財の散逸がこれ以上進ま

ないようにするためにも、また、多くの市民の声を聞きながら総合的に判断すべく、前向きに検討していく。

## 白石市博物館の建設について

佐藤 愿

〔質疑〕県教委は、白高、白女高の統合を決定し、新校舎の敷地まで公表している。

一方、白石市は博物館の建設を計画し、建設場所として、「白石城、武家屋敷と連動できる場所が望ましい。」(答申)と考えている。

①「連動」できる場所とは、現在二高校の敷地のいずれかを想定しているのか。

②二高校跡地利用でいつ県と折衝するのか。この跡地利用の総合計画の中で、博物館建設を考えることにはならないのか。

〔答弁〕設置場所については、現時点では全く白紙である。白紙というのは、例えば城北町の駐車場も候補地であるのは事実である。ただ、答申を受けた時点で、まだどこに置くかは白紙である。

また、県立高校の問題であるが、正式に県の方からこうしたいんだという通達がないのに、今市からはどうだこうだと言える、コメントできる段階ではない。当然、統合が平成二十二度というタイムリミットまでというのは承知し

ている。それに対しての対応は、それなりにしっかりやっていないければならないというのはそのとおりである。ただ、あくまでもまだ県有地であるから、その時点をしつかりした上で初めて正式に発表できる。その前の段階は、検討は考えている。

※参考(答申)  
「白石城及び武家屋敷と連動できる場所」  
「その他の質問」  
次年度からの長峰分校休校措置の現況について



設置場所は？(城北町も候補地)



市長への答申(博物館建設構想委員会)